

風

かぜ

カゼ 2006.7-17 No.95

◇知識に触れての記

前号では一般語としての知識と仏教語の智慧の関わりを日常生活の中で捉えてみましたが、今号では仏教語としての知識語に触れてみます。

仏教語としての「知識」は私たちが通常認識している概念とは異なります。仏教では、仏縁を結ばせてくれる人、指導者とか、親しい人のことを「知識」「善知識」(No.64参照)といいます。

【歎異抄】の序文にある「有縁の知識」や【恩徳讚】の「師主知識の恩徳も」、【高僧和讃】の「真の知識にあうことは」【領解文】の「次第相承の善知識」等は皆これにあたります。心して味読してみてください。新たな出遇いがありますように。

◇隣地ビルの現況

7/16現在、隣地ビルは七階部分まで建ち上がりました。シートで覆われていますので、工事の内容は定かではありませんが、週に一階増の割で高くなっています。十四階ビル(完成時)となるとそのまま今のビルが上に重なる勘定です。空が益々狭く小さくなってきました。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

人の粗(アラ)はよく見えるが
自分の欠点は気づかない
お念仏の鏡に
自分を映し出してみよう



〒105-0014

東京都 港区芝1-12-18

安楽寺

03-3451-1509